I·O DATA

B-MANU201120-01

HDM-OPシリーズ
RAIDファームウェア 更新方法

本製品はHDLM-UシリーズおよびHDLM-GWINシリーズの交換用ドライブです。

本製品を交換用ドライブとしてお使いになる前に、対応する本体の各ファームウェアバージョンが下記に対応していることをご確認ください。対応していない場合は各ファームウェアを更新する必要があります。
※ファームウェアバージョンの確認方法については、各製品の【画面で見るマニュアル】をご確認ください。

<HDLM-U シリーズ >

・RAID ファームウェアバージョン　　2.20.2.3 以上
上記バージョン未満の場合は、弊社ホームページ（http://www.iodata.jp/lib/）にてダウンロードしていただき、「README.TXT」内の手順にしたがって更新してください。

<HDLM-GWIN シリーズ >

・HDLM-G MANAGER　　1.02 以上
上記バージョン未満の場合は、弊社ホームページ（http://www.iodata.jp/lib/）にてダウンロードしていただき、「README.TXT」内の手順にしたがって更新してください。

・RAID ファームウェアバージョン　　2.20.2.3 以上
上記バージョン未満の場合は、以下の手順に従って更新をしてください。

1 HDLM-GWINの更新用CDを作成する

❶ HDLM-GWINシリーズのRAIDファームウェアの更新にはCDが必要です。次のものをご用意ください。

更新用CD作成に必要なもの

- CD-R/RW に書き込む事が出来るドライブ
- 上記に対応していて ISO イメージファイルから CD-R/RW への書き込みが出来る CD ライティングソフト
- 上記ソフト及びドライブに対応したハードウェアと OS
- CD-R/RW の空メディア (容量的には 650MB の容量で十分です。)

❷ CD-R/RWの空メディアをCDドライブにセットします。

❸ 弊社サポートライブラリ（http://www.iodata.jp/lib/）内、HDLM-GWINシリーズの項目からダウンロードした更新用CDイメージファイル「gwinraidup_fxxxxx.ISO（xxxxxは更新後のバージョン）」をご用意いただいたライティングソフトを使用してブランクCDに書き込んでください。
※書き込み方法などについてはご利用のライティングソフトメーカー様にお問い合せ下さい。弊社では書き込み方法などについてお答えできません。

❹ 書き込みが終了したらCDをドライブから取り出してください。

以上で更新用 CD の作成は終了です。

2 HDLM-GWINのRAIDファームウェアを更新する

❶ RAIDファームウェアの更新にはHDLM-GWINを直接操作する必要がありますので、以下のものをご用意ください。

RAIDファームウェアの更新に必要なもの

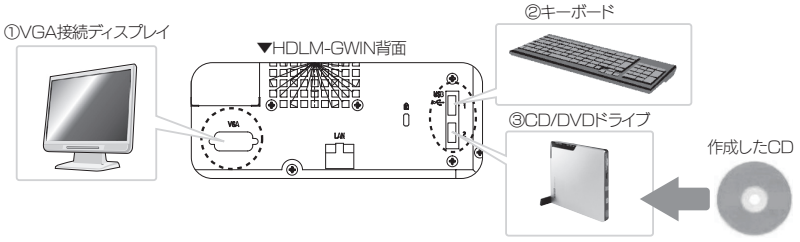
- RAID ファームウェアを更新する HDLM-GWIN 本体
- ①で作成した RAID ファームウェア更新用 CD
- USB 接続 CD/DVD ドライブ
- USB キーボード
- VGA 接続ディスプレイ

❷ HDLM-GWINの電源を切ります。

❸ ①VGA接続ディスプレイをVGA端子に接続します。
②USBキーボードをUSB端子に接続します。
③USB接続CD/DVDドライブをUSB端子に接続し、更新用CDをセットします。

❹ HDLM-GWINの電源を入れます。
→自動的に更新用CDからブートを行います。

(裏面へつづきます)



HDLM-GWINのRAIDファームウェアを更新する（つづき）

❺ 更新用CDから正常にブートが出来ましたら、右の画面が表示されます。
「Do you UPDATE the firmware of this target? (y/N/q) >」と表示されます。バージョンアップを行いますので、USBキーボードの[y]キーを押します。
RAIDファームのバージョンアップが開始されます。しばらくお待ちください。
※※xxxxx には現在と更新後の RAID ファームのバージョン・更新用ファイルの容量が表示されます。

```
=======================================================
R-Series Utility Program Ver.1.47 for DOS/FDMS
Copyright(C) 2005-2008 I-O DATA DEVICE,INC. All rights reserved.
=======================================================
CPU Clock    : 800[MHz]
Machine Type : PC/AT Compatible (US Mode)
Operating Sys: FDMS (FD EMULATION)
Free Memory  : 472560 Byte (461kB)
PCI BIOS     : Ver:2.10 Mechanism:#1 LastBusNum:1

OPERATION MODE          : UPDATE
LOADING F/W             : Rxxxxx.BIN  xxxxxx/xxxxxx
                          MAIN Version    : xxxxxx
TARGET DEVICE (01)      : StandardIDE  [PM]
                          IODATA   DELTA2 RAID HDD
                          xxxxx
Do you UPDATE the firmware of this target? (y/N/q) > _
```

❻ RAIDファームウェアのバージョンアップが正常に終了すると、
「ド・レ・ミ・ファ・ソ・ラ・シ・ド」のブザー音と共に右の表示になります。
更新用CDを取り出し、USBキーボードのキーを何か押してください。
自動的にHDLM-GWINの再起動が始まります。
※xxxxx には現在と更新後の RAID ファームのバージョン・更新用ファイルの容量が表示されます。

```
LOADING F/W             : Rxxxxx.BIN  xxxxxx/xxxxxx
                          MAIN Version    : xxxxx
TARGET DEVICE (01)      : StandardIDE  [PM]
                          IODATA   DELTA2 RAID HDD
                          xxxxx
Do you UPDATE the firmware of this target? (y/N/q) > Y
BUFFER ACCESS TEST      : SUCCESS
MAIN F/W COMPARE        : DIFFERENCE
CORE F/W COMPARE        : DIFFERENCE
BUFFER ACCESS TEST      : SUCCESS
MAIN F/W UPDATE         : SUCCESS
CORE F/W UPDATE         : SUCCESS
CORE F/W COMPARE        : SUCCESS

Push any key to Reboot…
```

以上で RAID ファームウェアのバージョンアップ作業は終了です。

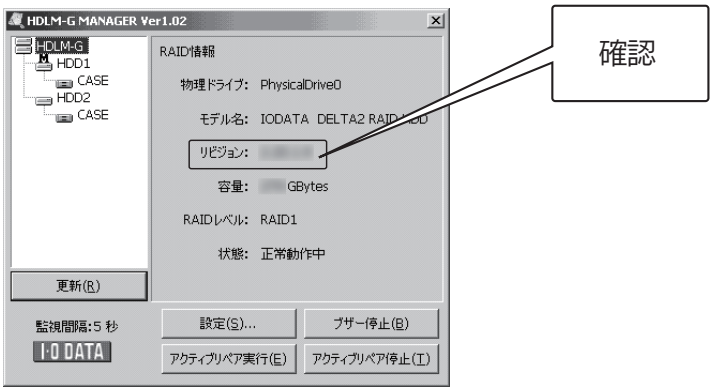
3 HDLM-GWINのRAIDファームウェアの更新を確認する

確認方法はHDLM-GWINの直接操作、もしくはクライアントPCからのリモートデスクトップ接続のどちらでもかまいません。

❶ HDLM-GWINの電源を入れます。起動するまでしばらくお待ちください。

❷ ログインし、[スタート]→[すべてのプログラム]→[I-O DATA]→[HDLM-G]→[HDLM-G MANAGER]を起動します。

❸ 「HDLM-G MANAGER」操作画面で、RAIDファームウェアのバージョンが新しいバージョンになっているかをご確認ください。
リビジョンの表示がダウンロードしたファイル名「gwinraidup_fxxxxx.exe」のxxxxxと同じ値になっているか確認してください。



以上で RAID ファームウェアの更新確認は終了です。

デジタルライフの夢を拡げる
株式会社 アイ・オー・データ機器
本社サポートセンター：〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
ホームページ：http://www.iodata.jp/support/

Copyright (C) 2008 I-O DATA DEVICE, INC. All Rights Reserved.
地球環境を守るため、再生紙を使用しています。
PRINTED WITH SOY INK 大豆インキを使用しています